



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

- 9日** ドル円は110.45円前後でもみ合いが続いていたが、対ポンドを中心にドル高が進んだほか、ダウ平均の上昇を支えに買いが強まり、一時110.90円まで値を上げた。
- 10日** 5・10日(ゴト一日)とあって仲値にかけて買いが入ったうえ、日経平均株価の上昇も買いを後押し、ドル円は一時111.35円まで上値を伸ばした。ただ、引け前に「米当局は2000億ドル相当の対中関税リストを公表の予定」との報道が伝わると111.00円を割り込んだ。
- 11日** 米国による対中関税措置を受けてドル円は110.77円まで下げたが、一巡後はショートカバーが優勢に。6月米卸売物価指数(PPI)が強い内容だったことも材料視され、重要な上値目処として意識されていた5月21日高値の111.40円を上抜けると買いが加速。一時112.17円まで買い上げられた。
- 12日** 日本株高や上海株の持ち直しでリスクセンチメントが改善し、ドル円は底堅く推移した。海外時間に入っても株高が相場を支えることになり、一時112.63円まで上げ幅を広げた。
- 13日** ドル円は欧州勢参入後に112.80円まで上げたが、本邦実需勢の売りオーダーに上値を抑えられるとその後は伸び悩み。7月米消費者態度指数(ミシガン大調べ)速報値などが予想を下回ったことも重しとなり112.28円まで下押しした。
- 総括** 先週のドル円は堅調に推移した。ジョンソン英外相の辞任を受けてポンドドルが下落するとつれる形で買いが強まった。翌10日にはゴト一日に伴う実需勢の買いや株価上昇を支えに111.35円まで値を上げた。米国による対中貿易制裁が発表されると失速する場面があったが、下値は限定的。11日には良好な米PPIを受けてドル高が進むと重要なレジスタンスとして意識されていた5月21日高値の111.40円を突破。その後も株高が買いを後押しする展開となり、一時112.80円まで上値を伸ばした。週末は利食い売りが出て112.28円まで下押しして終了した。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値	結果
10日	18:00	火	DEM	ZEW景況感指数	*	7月	-16.1		-18.0	-24.7
11日	21:30	水	USD	PPI	前月比	6月	0.5%		0.2%	0.3%
11日	23:00	水	CAD	カナダ銀行、政策金利	*	*	1.25%		1.50%	1.50%
12日	18:00	木	EUR	鉱工業生産	前月比	5月	-0.9%	-0.8%	1.2%	1.3%
12日	21:30	木	USD	GPI	前月比	6月	0.2%		0.2%	0.1%
13日	*	金	CNY	貿易収支(米ドル)	*	6月	249.2億ドル	242.3億ドル	276.1億ドル	416.1億ドル
13日	23:00	金	USD	消費者態度指数(速報値)	*	7月	98.2		98.2	97.1

一言コメント・・・カナダ銀行は金利の据え置きを決定したものの、声明文で追加利上げについて言及されていたため、一時カナダドル買いでの反応が見られました。

先週の注目された要人発言

- 9日17:30 英保守党のリース・モグ議員「近い将来にメイ英首相の信任投票は行われぬ」
 9日22:04 ドラギECB総裁「少なくとも2019年夏にかけて金利を据え置くと予想」「インフレが上昇していくことに自信」
 9日23:38 メイ英首相「英国はBREXITに関するEUの提案を受け入れられない」
 11日07:54 ライトハイザーUSTR代表「2000億ドル相当の対中関税リストを公表」「米国は中国と交渉する用意がある」
 11日13:24 中国商務省「新たな米関税に報復せざるを得ないだろう」「米国をWTOに提訴する」
 11日15:58 ビルロワ仏中銀総裁「インフレ見通し次第ではあるが、最初の利上げは最も早く2019年夏となる可能性」「資産買入れの終了は12月にすべき」
 11日21:21 ECB高官「ECB理事会のメンバー間で、2019年夏以降の利上げというタイミングに関して見解が分かっている」
 11日23:00 カナダ中央銀行声明「インフレ目標に近づくため利上げは正当化される」「データに基づいて段階的なアプローチを取ると予想」
 12日19:12 メスター米クリーブランド連銀総裁「米国の力強い景況感が、今年のと2回の利上げ見通しを正当化している」
 12日20:30 ECB理事会議事要旨「インフレが目標まで上昇するために必要な限り金利は現状の水準に据え置く」
 13日01:36 ハーカー米フィラデルフィア連銀総裁「インフレが加速すれば今年4回の利上げを支持」
 13日03:13 パウエルFRB議長「インフレは徐々に上昇し2%に迫っている。我々は目標に近づいている」「経済は良好だが、インフレ目標は完全には達成していない」
 13日20:42 カンリフBOE副総裁「国内インフレは想定よりも早く上昇する」

一言コメント・・・米中貿易摩擦の悪化懸念から一時リスク回避の動きが進んだほか、ECBの利上げ開始時期を巡って当局者発言に振られる場面も見られました。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
17日	22:15	火	USD	鉱工業生産指数	前月比	6月	-0.1%		0.5%
17日	23:00	火	USD	パウエルFRB議長、議会証言	*	*	*	*	*
18日	18:00	水	EUR	ユーロ圏HICP改定値	前年同月比	6月	2.0%		2.0%
19日	*	木	ZAR	南アフリカ準備銀行、政策金利	*	*	6.50%		6.50%
19日	23:00	木	USD	米景気先行指標総合指数	前月比	6月	0.2%		0.5%
20日	08:30	金	JPY	全国消費者物価指数	前年同月比	6月	0.7%		0.8%
20日	21:30	金	CAD	CPI	前月比	6月	0.1%		0.0%

今週の注目は・・・FRB議長の議会証言

GIweekly今週のマーケットポイント [限定版]は

『ひまわりFX WEB/PRO』にログイン後
「マイページ」にてご覧いただけます。

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - － 荻野金男
 - － 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - － 今井雅人
 - － エマージングウオッチ

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。